

教育長表敬訪問について

仙台第三高等学校の生徒の作文が下記の内容で受賞したことにより、教育長を表敬訪問することになりましたので、お知らせいたします。

記

- 1 訪問日 令和4年2月9日(水) 午後4時30分から午後5時まで
- 2 場所 宮城県行政庁舎16階 教育委員会会議室
- 3 受賞内容等

「私の折々のことばコンテスト2021」高校部門最優秀賞(最高賞)

イ 受賞者 熊谷 孝太 (普通科 1年)

ロ 内容 題 なみだは にんげんのつくることのできる 一ばん小さな 海です
寺山修司の詩「一ばんみじかい抒情詩」

「そういえば最近泣いてない。それがこの言葉を聞いて最初に思ったこと。この言葉は、不安な日々の中、ラジオで紹介されていた言葉です。つらい時は泣いていいよ、とよく言います。ですが、どこか泣くことは恥ずかしくはしたくないと思っていました。泣くことから逃れるために 苦しいことから逃れてきたのかもしれませんが。涙は海。悔し涙は厳しい努力の雫が集まった海、嬉し涙は感動を分かち合いたい思いの粒が重なった海。それぞれの海の深みに輝く心の揺れがあることを、この言葉に教わりました。これからどんな海と深みに出会えるだろう。私は淀みない海を創れる人間でありたい。そして他人の海を感じ入る人間でありたい。そう思いました。」

国内外から寄せられた2万9664作品の中から、最高賞となる最優秀賞を受賞した。

「私の折々のことばコンテスト2021」について

- 1 主催 主催：株式会社朝日新聞社 共催：株式会社朝日学生新聞社
特別協賛：Z会グループ・株式会社栄光
- 2 応募資格 中学生・高校生
- 3 審査方法 3回の予備審査を行った後、2021年11月末に「折々のことば」筆者の鷲田清一氏を審査委員長として最終選考を行い、最優秀賞2作品、受賞10作品を決定した。
- 4 内容 **コンテストについて**
「私の折々のことばコンテスト」は、あなた自身の心に響いた「ことば」を探し、その思いを書くことで、自分にとって大切なものは何かに気付く、そんなきっかけを願うコンテストです。(HPの記載より)
応募作品について
次の三つの要素を書いてください。
 - あなたの心に響いた大切な「ことば」 本や映画、身近な人のことばなど
 - それは誰の「ことば」なのか
 - その「ことば」にまつわるエピソード (200~300字で説明や思い出を)

※ 取材される場合は前日までに担当まで連絡をお願いします。